

『Mt. TAKAO 検定』で高尾山をホームの山に！

A Proposal for the Development of Mt. TAKAO Certificate Exam

TNG599

桶田瑞季, 對馬沙耶, 長澤朋美, 脇坂弘美
指導教員 石川智仁

創価女子短期大学 国際ビジネス学科 石川智仁ゼミナール

八王子市の南西部に位置する高尾山は観光、歴史、自然などの様々な観点から見ても、世界に誇ることのできる山であり、高尾山について学ぶことでさまざまな方面への関心や知的な基礎力を養うことができる。その一方で、高尾山に関する情報は膨大であり、どこから学べばいいのかわからない人も多い。そこで、学習者の興味や関心を維持しながら、高尾山について効率的に学ぶ方法として『Mt. TAKAO 検定』の作成を提案する。沢山の人が高尾山から学び、興味や理解を広げ、やがては自然保護への態度や技術を育むような発展的な方向へと導くことを念願する。

キーワード：高尾山、検定、学習、観光促進

はじめに

八王子市の南西部に位置する高尾山は標高 599 メートルの低山ながら、2009 年には富士山とともにミシュラン 3 つ星を獲得した観光の中心地であるとともに、世界一の登山者数を誇る山である。また高尾山の薬王院の開山は奈良時代（744 年）までさかのぼり、非常に歴史のある信仰の山でもある。さらに高尾山は暖温帯と冷温帯の境界に位置することでも知られており、多様な植生とそこに生息する沢山の生物が存在している。このように観光、歴史、自然などの様々な観点から見ても、八王子の高尾山は世界に誇ることのできる、超一流の山である。

このような素晴らしい山について学ぶことは、老若男女を問わず、その好奇心を刺激し、新しい世界への扉を開くきっかけになるだろう。例えば、高尾山を観光ビジネス（飲食業、輸送業、旅館業など）やスポーツ（登山、トレイルランニング、ヒルクライムなど）という観点から捉えることで、山と人間社会との理解を深める良い機会となるだろう。また、高尾山の自然に注目することで、動植物とその生態系が身近な地域や地球環境にどのように貢献しているのかを理解するための貴重な機会となるだろう。

このような学習の機会としては、商工会議所が行う「ご当地検定」が知られていて、八王子周辺ではすでに有名な『多摩検定』が存在する。また高尾山とともにミシュラン 3 つ星を獲得した富士山には『富士山検定』はあるが、残念ながら高尾山に特化した検定は存在しないのが現状である。

他方、いざ高尾山について学ぼうとした場合、学習者が直面する問題もある。それは、高尾山についての情報量の多さであろう。例えば、植物だけでも高尾山には 1500 種類は存在するという。加えて、昆虫や地質、歴史などを加えていくと、果たしてどこから手をつけていけばよいのかわかりにくいうのが現状である。

提案内容

以上のような状況から、身近な山である高尾山について、学習者にわかりやすく、無理なく学ぶことができるための仕組みとして、『Mt. TAKAO 検定（仮称）』を作ることを提案したい。Mt. TAKAO 検定の目的は、地域住民や観光客、登山者の方に、高尾山を「ホームの山」としてもらうことである。ここでのホームの山とは、自然への愛と理解、歴史や社会への理解、安全登山などについて基礎的な事柄を学ぶことのできる山という意味である。例

えば、身近な花や樹木の名前やその特徴などについて学びながら、生態系についての理解などを深めるきっかけとして、高尾山をホームの山としてもらい、そのためのきっかけづくりとして機能するのが Mt. TAKAO 検定である。

検定で扱う分野は網羅的ではないが、以下のようなものが考えられるだろう。もちろん、すべてを扱う必要はなく、例えば、③動植物と生態系に特化した検定の内容でもよいだろう。また、内容はあまり専門的にはならず、しかし、無理なく興味を持てるようなものが望ましいだろう。何より、実際に高尾山を歩いてみて学習者が知識を使えるようなもの（例えば、樹木や花、石の種類などを同定できるようになるなど）がよいだろう。他にも安全登山のために配慮すべき点や、天狗や遙拝などについて学べるような内容のものでもよいだろう。

- ① 信仰（薬王院の歴史など）
- ② 観光（登山者数、施設、グルメ、交通手段など）
- ③ 動植物と生態系（森林の種類や役割など）
- ④ 地質・地形（高尾山の形成や岩石など）
- ⑤ スポーツ（安全登山など）

提案の意義

本提案の意義としては様々あるだろうが、まずは学習者が高尾山に関する知識を得ることにより、身近な自然（当然、高尾山に限らない）や自然保護問題に関心などをもってもらうとともに、安全な登山へのきっかけや信仰とその歴史への理解を深められるような機会を得られるようになることである。また、知識を使う楽しみを知ることで、学習者には繰り返し高尾山に足を運んでもらう良いきっかけにもなるだろう。そして、例えば、ベオグランド憲章などにもあるように、興味や理解を広げた学習者は自律的に学ぶことで、自然保護への態度や技術を育むような発展的な方向へと導くことも可能となるだろう。

むすび

歴史と自然の豊かな高尾山から学ぶことは沢山

ある。高尾山で学んだことを基礎にして、世界に飛び出しができる。そのために効率よく、大事なことから学んでいきたい。Mt. TAKAO 検定にはそのような想いが込められています。